

vol. 278

Autumn 2024

お茶の水女子大学の今を伝える広報誌

# Ochadai GAZETTE

お茶大ガゼット



## Contents

- 02 お茶の水女子大学  
創立150周年 ここから未来が広がる  
佐々木 泰子  
国立大学法人 お茶の水女子大学長

- 04 お茶の水女子大学～徽音祭～  
これまでの歩みを振り返って

- 06 学生のアクティビティ  
第75回 徽音祭

- 08 教員紹介  
ツアン シンイー  
基幹研究院自然科学系 助教

- 09 卒業生紹介  
大竹 遥さん  
生活科学部人間生活学科生活文化学講座卒業

- 10 附属学校園からのお知らせ  
お茶の水女子大学附属高等学校



佐々木 泰子

国立大学法人

お茶の水女子大学長

1976年お茶の水女子大学文教育学部文学科国文学国語学卒業、1978年同大学院人文科学研究科日本文学専攻修了、1993年同大学院人文科学研究科日本言語文化専攻修了。専門は社会言語学、日本語教育。お茶の水女子大学助手、助教授、教授、国際教育センター長、附属小学校長、理事・副学長を経て2021年4月より現職。

お茶の水女子大学は、2025年(令和7年)11月29日に創立150周年を迎えます。残すところあと一年となりました。今回の特集中では、佐々木泰子学長にお話を伺います。

赤松副学長：本日はよろしくお願ひします。まず、この150年の中で、本学にとって大きな節目は何だったとお考えですか。

佐々木学長：明治時代に入り、国の施策として、女子教育の振興が掲げられました。そこで、1875年、教員養成を目的とした、本学

の前身である女性のための日本初の高等教育機関「東京女子師範学校」が設立されました。教員養成が目的とされていたこともあり、設立当初から文理融合の教育が行われていました。また、日本初の女子帝大生や女性理学博士など国内外で活躍する多くの卒業生を輩出していました。

2004年の国立大学法人化も大きな出来事でした。法人化が大学の今後にどのような影響を与えるのかなど、大学のこれからを深く考えることとなりました。本学では、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な

夢の実現の場として存在する」という独自のミッションを掲げました。これは、本学が長年取り組んできた開発途上国も含めた世界の女子教育支援をはじめとして、世界中の全ての女性たちの夢の実現を支援することを企図するものです。そして、今世界が目指している「地球上の誰一人取り残さない」というSDGsの理念にも通じるものです。法人化から20年が経ち、良いことも大変なこともありますでしたが、2024年4月に共創工学部を開設し、新たなスタートを切りました。

修士課程の  
学位記授与式  
(3月23日)

学部卒業後の春

学長就任祝いに  
学部同期生から  
贈られたお花

Memories

# お茶の水女子大学

## 創立150周年 ここから未来が 広がる

佐々木学長：在学生や卒業生、附属学校園、教職員など、オールお茶の水でお祝いができるといいなと思っています。本学の校歌「みがかずば」は、幼稚園から大学まで同じ校歌です。附属学校園では行事等で歌う機会が多いですが、大学では式典等で歌う機会はあるものの、その機会は少ないです。短い歌詞の中に込められた意味を理解し、みなさんと大切に歌ってお祝いをしたいですね。また、創立150周年を迎えることを記念して、新たに「お茶の水女子大学学生歌」を制作します。創立150周年記念式典において初演予定です。

さらに、同窓会団体である桜蔭会など、本学の活動と運営を支えてくださるステークホルダーの皆さんにも感謝を伝えるとともに、歓びを分かち合うことができるよう準備を進めてまいります。

赤松副学長：最後に皆さまへメッセージをお願いします。

佐々木学長：本学は、2025年に創立150周年を迎えます。

世界は今、気候変動や人口動態の激変など、地球規模で連帶して解決に取り組まなければならぬ様々な課題に直面しています。それらの課題に向き合い、教育・研究・社会貢献に資する私たちの目線での発信、本学らしい取り組みを行っていきたいと思います。

赤松副学長：そうですね。社会とともに歩み続けていきたいですね。佐々木学長の学生時代のお話も交えながら創立150周年に向けた想いを伺うことができました。本日はどうありがとうございました。

赤松副学長：佐々木学長は、本学の卒業生でもあります。学長からご覧になった本学の変わらないところを教えてください。

佐々木学長：今も昔も、学生の様子は変わらないように思います。

私は、山口県出身で大学進学を機に上京しました。受験勉強を頑張ったこともあり、入学後は少しゆっくりしようとを考えていたところ、入学すると同級生たちがとても意欲的で、当初は圧倒され、大学生活に不安を感じるようになりました。悩んでいた私に、クラス担任の先生が親身に相談に乗ってくださり、アドバイスをしてくださいました。そして、入学後のGWには地元に帰り、自身のことや大学生活について思いを巡らせ、再び上京した際に、クラスの友人に自分の思っていることを話しました。友人は、私の心に寄り添いながら話を聞いてくれて、悩みや不安もしだいに解消されていったように思います。少人数でクラス担任制というアットホームな環境や、わからないことをわからないと言える雰囲気によって、成長できたと考えています。得意なところや苦手なところを、それぞれが共感し合って助け合い、一生の友達ができました。また、大学院時代にも先生方からのサポートやお声かけをたくさんいただき、年齢に関係なく、戻れる大学でもあると強く実感しています。大学時代の友達とは、今でもクラス会を開いて近況を報告をしています。

これまで刻んできた伝統を引き継ぐとともに、新たな時代の要請にも応じた学びと研究の環境を整備して、リーダーシップを發揮し、新たな社会的価値を創造する女性たちの育成に努めたいと思います。

赤松副学長：どのようななかたちで、創立150周年を迎えるかと考えていらっしゃいますか。

赤松副学長：お互いを理解し、支え合うという点は、今の学生も同じですね。

聞き手：赤松 利恵 広報・学術情報担当副学長、広報推進室長 基幹研究院自然科学系 教授



# お茶の水女子大学 ~徽音祭~ これまでの歩みを振り返って

徽音祭は、お茶の水女子大学で75年の長きにわたって続く学園祭です。学生たちは数か月をかけて、企画から当日の運営まですべてを行います。今号では『お茶の水女子大学百年史』(「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会、1984) や過去のパンフレット等を参考にしながら、徽音祭の歴史を振り返っていきます。

第1回徽音祭は、1950(昭和25)年に開催されました。その起源は、1946(昭和21)年に開催された文・理・家政・体育各科競演の演劇祭のようです。「徽音祭」の名称もこの演劇祭で決定されたとのことです。第1回徽音祭では、講演会、音楽会、筝曲演奏、ダンス劇といった催し物が企画されました。

1955(昭和30)年ごろには、ダンスパーティーや前夜祭が開催されるようになりました。ダンスパーティーはその後20年以上続けられ、前夜祭では、のちに歌手によるコンサー

トが行われるようになります。昭和40年代に入ると、サークル単位で喫茶店や軽食堂といった模擬店を出すことが盛んになった一方、実験や展示の発表も行なわれていました。

昭和50年代になると、サークル以外に学科企画としての模擬店も並ぶようになり、徽音祭は一層賑やかなお祭となっていました。



1969(昭和44)年



1975(昭和50)年のパンフレット



1975(昭和50)年



1950(昭和25)年のパンフレット

1950  
(昭和25)年

第1回徽音祭



1965(昭和40)年のパンフレット



1971(昭和46)年



1980(昭和55)年



1980(昭和55)年のパンフレット



平成・令和に入っても、徽音祭が学生たちのさまざまな活動の発表の場であることは変わりありません。

環境意識の高まりを受け、ゴミの分別徹底やりサイクルが行われるようになり、一部再利用可能なエコ容器も登場しました。2015(平成27)年には、新企画として「徽音座の歌

姫」が開催されたほか、この年に妖精きいちゃんが初めて徽音祭に登場しました。

社会全体が大きな影響を受けたコロナ禍でも、徽音祭が中止されることはありませんでした。オンライン方式や、対面とオンラインの両方のプログラムを含むハイブリッド方式での開催にチャレンジし、来場でき

ない方にも魅力を届けられるような企画が多く用意されました。また、地域の小学校のお祭と一緒に企画するなど、さまざまな世代と交流し、地域の方々とのかかわりを大切にしながら、新たな歴史を刻んでいます。



初代きいちゃん

2015  
(平成27)年  
きいちゃん徽音祭に  
初登場

2019(令和元)年  
きいちゃん  
アップデート!

2025  
(令和7)年  
創立150周年

2024  
(令和6)年  
第75回徽音祭



2009(平成21)年

2015  
(平成27)年

2017(平成29)年



2023(令和5)年

2019(令和元)年  
のパンフレット

## 食物栄養学科伝統の「ときわじるこ」



徽音祭で食物栄養学科の学生たちによって提供されるときわじるこは、徽音祭の名物ともいえるものです。その歴史はとても長く、1951(昭和26)年

の徽音祭で初めて提供されたとも言われています。当初はサツマイモが使用されていましたが、昭和40年代中頃から白餡が使用されるようになったようです。

時代に合わせた工夫がされながらも、代々引き継がれてきた名物ときわじるこ。その美味しさの秘密について、「ときわじるこ係」の学生に伺いました！

ときわじるこは、食物栄養学科の1、2年生が総出で調理しています。普段は関わりのない学年との貴重な交流の場にもなっています。食物栄養学科教員のご指導・ご協力のもとレシピを改良しており、年によって抹茶の加減や甘さがほんの少し異なるので、今年ならではのときわじるこをお楽しみいただけると思います。

秘伝のレシピのため、詳しいレシピをお教えすることはできませんが、簡単にご紹介します。まず、鍋に生餡と砂糖と水を入れ、加熱しながら練り上げます。これは「餡練り」という、調理の中で一番大変な作業です。餡練りをすることで餡の粒子が小さくなり、なめらかな口当たりになります。餡を焦がさないよう絶えずかき混ぜなければならず、とても地道な作業ですが、学科一丸となって練り上げています。練った餡を水で伸ばし、抹茶と焼いた餅を加えて完成です。

毎年ときわじるこを楽しみにしてくださるお客様のため、今年も心を込めてお作りします。ぜひお召し上がりください。

ときわじるこ係の学生に聞きました！

担当：中野 裕考 基幹研究院人文科学系・准教授

## お茶の水女子大学

## 徽音祭

## テーマ「teatime」とロゴについて



11月9日(土)、10日(日)に開催される第75回徽音祭のテーマは「teatime」です。このテーマには、来場者の皆様にお茶大ならではの落ち着いた雰囲気を感じ、素敵なお茶の時間」を過ごしていただきたいという願いが込められています。

ます。あたたかい空間の中で、多くの出会いを通じ、心弾む思い出が生まれるようにと考え、このテーマを選びました。



テーマロゴには、円形の輪郭と温かみのある色合いのティーポットを用いて、その想いを表現しました。また、皆様とともに豊かな時間を過ごせるよう、ティーポットの中に時計をデザインしました。時計の針は、今年度75回目の徽音祭を記念して、7と5の位置を指しています。

## おすすめ企画が知りたいです!

まずは徽音祭オリジナルグッズです。徽音祭限定のスペシャルグッズがたくさん新登場! グッズは、徽音祭当日だけでなく、自宅でのくつろぎの時間やお出かけ時にも活躍すること間違いなし。皆さんの日常にぴったりのアイテムを見つけてみてください。

企画内容も見逃せません! 今年度は95団体が参加し、個性豊かな企画や出店が盛りだくさんです。お茶大の歌唱力No.1を決定する「徽音座の歌姫」、毎年大人気の縁日企画、幅広い年代の方が参加できるクイズ大会、キャンパス規模の謎解きもお楽しみいただけます。さらに受験生相談室やキャンパスマスター、模擬授業などもあります。グランドフィナーレの抽選会もお見逃しなく!

## 活動に際して、心がけていることはありますか?

徽音祭パンフレットの制作です。今年度は更にクオリティを高め、徽音祭を最大限に楽しむには欠かせない情報を豊富に盛り込んだ、特別なパンフレットを用意しています。第75回徽音祭でしか手に入らないこの一冊を、お茶大の正門を入ってすぐの実行委員テントでゲットしてみてください!

また、公式ウェブサイトにも注力しています。テーマ「teatime」にぴったりの愛らしいデザインに仕上げました。さらに、留学生との国際化プロジェクトを通じて、多言語対応も実現。世界中の方々にご覧いただける内容となっています。徽音祭に関する最新情報は、公式ウェブサイトをチェック! 「徽音祭」で検索して、ぜひご覧ください。



## 最後にメッセージをお願いします!

今年度の徽音祭は、長い歴史の中で節目となる第75回目を迎えます。75年にわたる伝統や歴史を受け継ぎながらも、私たちは「今」の徽音祭を、そして「今」のお茶大らしさをしっかり魅せていくたいと考えています。

お茶大は、学部生約2,000人が所属する大学です。この規模だからこそ感じられるアットホームな雰囲気を、今年度の徽音祭では特に大切にしています。総勢216人の実行委員が約1年かけて準備を進めてきたのも、当日訪れる方々が心から楽しめる徽音祭を作りたいという想いからです。



最後に、徽音祭は、実行委員だけで成り立つものではありません。これまで伝統を守り続けてきた過去74回にわたるお茶大生や関係者、そしてこれからの徽音祭を支えてくださるすべての方々のおかげで、実現できるものです。徽音祭を支える皆さんに、深く感謝申し上げます。

たくさんの想いを背負い、進化し続ける徽音祭が、今年度もたくさんの笑顔を咲かせる場所になるよう、残り数日、精一杯頑張ります。委員一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



徽音祭実行委員会75th X



きいちやん公式 Instagram

今年度新設!



お茶大の妖精

## ~きいちやんについて~

徽音祭公式キャラクター「きいちやん」は、お茶大に住む妖精さんです。頭にはお茶と水がついており、普段は15cmほどの小さな姿ですが、徽音祭当日など、みんなに会いたい時は妖精の力で大きくなれちゃうんです。美味しいものが大好きで、お茶大に暮らす仲良しの「お茶ねこ」と遊ぶことも楽しみのひとつです。

第75回徽音祭では、今年度の限定企画として「きいちやんカフェ」と「きいちやん工房」があります。カフェでは可愛いドリンクを飲むことができ、工房ではオリジナルバッグ作りが体験できます。きいちやんは、今年度もさまざまな場所に登場する予定なので、ぜひ探してみてください!



# 教員紹介

Interview

ツアンシンイー先生

基幹研究院自然科学系助教

Profile

香港出身。ワシントン大学を卒業後、カリフォルニア大学サンタバーバラ校に進学し、博士号(数学)を取得。清华大学丘成桐数学科学中心ポストドク、中山大学数学学院(珠海)特別研究員を経て、2021年4月より本学に着任。



## Q1 研究の内容を易しく教えてください。ワクワクすることは何なんですか。

大学院の時は代数的整数論を研究していましたが、現在は群論とskew brace論を中心に研究を行っています。私の研究はとても抽象的で、様々な代数的対象の理論構築を取り組んでいます。数式を扱うことが少なく、計算があつても具体的な数字ではなくアルファベットと記号のみの場合が多いです。正則部分群というものをグラフと対応させて、グラフ理論を用いて数え上げたこともあります。

研究は授業と違って、証明できる定理も証明で使う道具も分からず状態でやらなければなりません。具体例を調べたり先行研究を参考にしたりして、手探りしながら取り組んでいきますが、解決の糸口が見つかりそうな時にすごくワクワクします。実際に詳細を確かめてみると、上手く行かず落胆する事もありますが、そこも研究の醍醐味だと思います。また、自分の研究に専門外の分野が関わってきた時にも、こんな応用があるのだ・こんな繋がりがあるのだとワクワクします。

## Q2 研究者・大学教員を志したきっかけをお聞かせください。

中学生の頃から教えるのが好きで、他の職業に

は向いていない自覚もあったので、教師になるとは思っていました。大学院に入って、勉強・研究・TAの仕事はもちろん、研究集会で他の人と交流するのも研究発表をするのも、すべてが楽しかったです。これといったきっかけはないですが、自分には合っていると思ったので、自然と大学教員を志しました。

## Q3 多くの国での経験をお持ちですが、日本との違い、特徴などをお聞かせください。

高等教育はアメリカで受けましたが、日本の大学とともに文化が違いました。日本では入学前に学科を選ばなければならないのですが、アメリカではある程度授業を受けてから専攻を決めます。また、少なくとも数学の分野では、卒論を必須としない大学が多いと思います。研究室という概念も本学に着任してから知りました。大学院の時でも、指導教員選びも本格的に研究に取り組み始めたのも、講義を受けて基礎を固めてからでした。そのほかに、数学に限った話かもしれませんのが、アメリカでは一貫制博士課程が主流で、一般的には学費免除の代わりにTAの仕事をして給料も貰えるのが私の印象です。

中国大陆の教育事情は詳しく知りませんが、他の面で違いを感じました。日本人は控えめというイメージがあるのに対して、中国人は遠慮しないこと

が多いです。中国大陆で生活したのは3年半だけでしたが、自発的行動し自己主張しないと損をすると感じました。また、日本のおもてなし文化とは種類が違いますが、中国人もおもてなしするのが好きな印象があります。色々な人に親切にしてもらっていたし、同年代の同性の友達と遊びに行く時でもみんな、食事だけでなく映画チケットまで奢ります。払わせてもらうのに結構大変でした(笑)。

## Q4 お茶大生へのメッセージをお願いします。

お茶大生はとても真面目で良い学生さんが多いですが、おとなしさぎると感じる時もあります。授業中にレポートを解く時間を設けても、只々静かに問題を考えるだけで、分からぬところがあつても質問しないこともあります。せっかく少人数授業でコミュニケーションが取りやすい環境に恵まれているので、受け身にならないでもっと積極的に発言してもらいたいと私は思います。自分の頭で考え続けることももちろん重要ですが、壁にぶつかってどうしても理解できない時にはやはり助けが必要だと思います。お茶大的教員は質問大歓迎だと思うので、分からないことを分からぬままにしないようにしましょう。

担当:宮崎 充彦  
基幹研究院自然科学系 准教授

## Q1 現職に就いた経緯やお仕事の内容を教えてください。

小学生頃から漠然と学校の先生になりたいと思っていました。しかし高校2年生の進路選択の際、教育学部に進学するか、どの科目を専門とするかで迷いました。考えていく中で、家庭科は生涯にわたって役立つ教科であり、しっかり学び直したいと思い、お茶大の生活科学部に進学しました。

大学では教職課程を履修する学生は周りに多くいましたが、教員を志望する学生は少なく、不安になりますこともありました。しかし、教職課程で学んだ知識を活かしたい、子どもとかかわる仕事がしたい、という思いから、教員採用試験に専念しました。高校まで共学校に通っていましたが、女子大で4年間過ごし、色々なことに挑戦できる環境を魅力的に感じたので女子校で勤務することに決めました。

現在は高校1年生のクラスを担任しています。中学入学時から4年間担当している生徒たちとの関係性も構築されてきて、毎日が充実しています。中学校・高校の家庭科の授業だけでなく、クラスの生徒の対応や課外活動、校務分掌など仕事内容は多岐にわたりますが、生徒と何かわる中で自分自身の言動を意識することが多いです。調理実習、被服製作などの家庭科の授業や宿泊学習、文化

祭などの行事を通じて生徒たちの成長を感じたときや、授業を担当した生徒や担任のクラスの生徒・保護者からお礼の言葉をいただいたときにやりがいを感じます。

## Q2 大学での経験は現在どのように活きていますか。

生活文化学講座では宮内貴久先生の民俗学のゼミに所属し、卒業論文は初誕生と七五三を中心とした産育儀礼の実態と変化について執筆しました。家庭科の授業でこの内容に触られるのは家族・家庭生活や保育の単元の限られた時間だけですが、生徒は興味深く話を聞いてくれます。卒業論文を執筆する過程でSNSや雑誌、文献などさまざまな資料を読み込んだことも、現在の授業準備に活きています。

在学時にはネパールのスタディツアーやフェアトレード商品を扱うNPO団体のインターンシップに参加する授業も受講しました。衣生活に関する授業で自分が途上国で目にしたものやフェアトレードの実態について話すことで、少しでも生徒たちが知見を広げ、海外の状況に目を向けられるようにすることを意識しています。

## Q3 お茶大生にメッセージをお願いします。

お茶大は授業で主体的行動できる場面が多く、新しいことに挑戦できるチャンスがたくさんあります。学部の4年間はあつという間に終わってしまうので、迷うことがあればぜひ行動に移してください。また、お茶大は先生方との距離が近く、就職活動にすることなどを相談しやすい環境だと思います。親友と将来設計について何時間も語り合ったこともいい思い出です。将来について不安に思うこともあるかもしれません、一人で考え込まないで、多くの人から意見を貰ってみてください。

最後に、教職課程を履修している学生の皆さんへ。教員は大変な仕事だというイメージが大きいかもしれません、春夏秋冬の流れの中で子どもたちと一緒に自分も成長できるやりがいのある仕事で、毎日の刺激も大きいと思います。ぜひ教員になることも検討してみてください。

担当:今泉 修  
人間発達教育科学研究所 准教授

# 卒業生紹介

Interview

大竹 遥さん

江戸川女子中学・高等学校

Profile

2020年3月、お茶の水女子大学生活科学部人間生活学科生活文化学講座卒業。  
2020年4月より江戸川女子中学・高等学校に勤務。



## Q1 研究者・大学教員を志したきっかけをお聞かせください。

中学生の頃から教えるのが好きで、他の職業に

Haruka Otake





# Ochadai GAZETTE

vol.278  
Autumn  
2024

発行日 / 2024年11月6日  
発行 / 国立大学法人お茶の水女子大学  
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報担当

E-mail : info@cc.ocha.ac.jp

URL: <https://www.ocha.ac.jp/>



本誌、およびバックナンバーは、  
本学ホームページに掲載されています。  
どうぞご覧ください。



お茶の水女子大学は  
2025年に創立150周年を迎えます



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University